

迫りくる円高ドル安、加速する通貨切り下げ競争、
アメリカ利下げ、チャイナ・ショック再燃、消費税再増税…

『日本経済復活の条件～金融大動乱時代を勝ち抜く極意～』

2016 年の日本、そして世界の金融経済動向を鋭く予言!!

植草一秀 著

(価格)1,600 円＋税 (発売日)2016 年 1 月 8 日 (出版元)ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区:代表取締役社長 唐津隆)は、2016 年 1 月 8 日に『日本経済復活の条件』を発売いたしました。

第二次安倍政権が発足して 3 年の時間が流れました。「アベノミクス」により、確かに株価は上昇し、8600 円だった日経平均株価が 2 万 800 円まで上昇しました。その最大の背景は企業収益の大幅な増加です。しかし、日本経済全体の推移を見ると、株価上昇とはまったくかけ離れた姿が浮かび上がってきます。毎四半期の GDP 成長率は、2013 年第 1 四半期から 2015 年第 3 四半期までの 11 四半期 3 のうち、4 四半期がマイナス成長。2013 年の 10-12 月期以降の 2 年間では、そのうち 4 四半期がマイナスで、プラス成長になったのは 4 四半期だけ。2015 年 7-9 月期はプラス成長に数値が改定されましたが、日本経済超低迷の現実には隠しようがありません。

世界経済は 2009 年の金融大危機から抜け出して、6 年間にわたる世界的な株価大暴騰が観測されてきました。しかし、2015 年 8 月に中国人民銀行が人民元の切下げ措置を実施したことを契機に、グローバルな株価急落が連鎖しました。年末の書店には中国崩壊論、金融危機再来論が所狭しと積み上げられています。チャイナショック直前の 6、7 月には、ギリシャ危機が衆目を集めました。そして、FRB のジャネット・イエレン議長は、いよいよ就任前からの最大の焦点である米利上げに着手。サブプライム金融危機の大騒乱は退出しましたが、金融市場の安泰が持続することはありません。イスラム国(IS)の活動は終息せず、ロシアの民間機が撃墜され、フランスパリでは大規模な同時テロが勃発しました。中東における戦乱の拡大が見込まれています。

上記を踏まえ、2016 年の世界と日本の動向を植草一秀が予測し、賢明な投資戦略を提案したのが本書です。



本書の構成

第1章 天気晴朗なれども波高し

激動の世界経済・金融・国際政治 / 復元力を試す金融市場 / 両側にある波乱の要素 / 亡国の消費税率 10% / 為替と株価のデカップリング

第2章 2015年波乱相場の総括

原油、ギリシャ、チャイナのゆさぶり / 再増税延期とインフレ誘導失敗の評価 / 原油安の配当 / ギリシャ危機はなぜ回避されたのか / 中国経済崩壊論の真贋

第3章 地政学と為替市場の地殻変動

イラン核合意成立と中東地政学 / ウクライナとギリシャ / もはや円安ではない為替市場 / ドル円レートと株価の連動性 / 日銀の敗北

第4章 イエレン議長の苦悩

利上げの作法 / 格差と金利政策 / 米国大統領選挙の行方 / TPPの正体 / 反転のリスク

第5章 チャイナ・ショックの正体

中国官僚の誤謬 / 中国経済リスクの本質 / キャピタルフライトと金融危機 / 危機は回避されるのか / より重大な経済反転リスク

第6章 安倍政権のゆくえ

戦争法制定と2016年参院選 / 落日のアベノミクス / 経済政策と株価 / 消費税増税再延期の可能性 / 分配政策の致命的な誤り

第7章 投資の極意

秘伝「5カ条の極意」 / 「潮流」と「波動」を読む

第8章 2016年の投資戦略

総悲観論の真贋 / 一億総動員計画 / 日本住血吸虫 / 弱肉強食から共生へ

●会員制レポート『金利・為替・株価特報』掲載参考銘柄の掲載後3カ月内の株価上昇率一覧

●注目すべき株式銘柄〈2016〉

植草一秀(うえくさ・かずひで)

1960年、東京都生まれ。東京大学経済学部卒。大蔵事務官、京都大学助教授、米スタンフォード大学フーバー研究所客員フェロー、早稲田大学大学院教授などを経て、現在、スリーネーションズリサーチ株式会社=TRI代表取締役。金融市場の最前線でエコノミストとして活躍後、金融論・経済政策論および政治経済学の研究に移行。現在は会員制のTRIレポート『金利・為替・株価特報』を発行し、内外政治経済金融市場分析を提示。政治情勢および金融市場予測の精度の高さで高い評価を得ている。

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。

《 お問い合わせ先 》

株式会社ビジネス社 広報担当:松矢

〒162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail : matsuyapress@gmail.com 携帯 : 090-7261-1982

TEL 03-5227-1602/FAX 03-5227-1603